

有馬元理事長功績たどる

1日から静岡文化芸術大で回顧展

静岡文化芸術大の理事長を務め、2020年12月に亡くなった有馬朗人さん(享年90歳)の功績を紹介する回顧展(実行委主催、静

岡新聞社・静岡放送後援が3月1日から、浜松市中区の同大で開

かれる。9日まで。物理学者や俳人など多岐にわたる分野で活躍した有馬さんのゆかりの品々を展示する。著書や直筆の俳句作品をはじめ、浜松一中(現浜松北高)同窓生からのメッセージなどを準備した。文化芸大で行ったいた俳句の講義の映像も流す。

有馬さんは1930年に大阪市で生まれた。少年時代を浜松で過ごし、浜松一中などを経て東京大に進学した。東京大理学部教授、同大総長、文部大臣などを歴任し、2010年から文化芸大の理事長を務めた。

実行委員長を務める同大の横山俊夫学長は、「有馬さんの素晴らしい感性と知性にも一度触れ、旧知の方々や学生が語り合う場所になれば」と話した。入場無料。5日は休展。問い合わせは同大へ電053(457)6113へ。



回顧展に向けて、展示品を確認する横山学長(左から2人目)ら=浜松市中区の静岡文化芸術大

